

ならはみらい

ここなら笑店街120万人突破!笑ふるタウンならは2周年感謝祭開催!

8月29日(土)、笑ふるタウンならは2周年感謝祭が開催されました。当日は、厳重な新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、ここなら笑店街の来場者120万人突破記念式典に加え、マルシェやゲーム大会など多彩な企画がおこなわれました。



“ならはみらい”の最新情報を季節ごとにお届けします!

- P.2 おかげさまで2周年!笑ふるタウンならは2周年感謝祭
- P.3 ならは応援団・ならはふるさと案内人活動報告
最新情報をPick up!
- P.4 紹介コーナー:企業を知ろう!(株)Jヴィレッジ
みらいスタッフが紹介!イマドキ“ならは事情”
- P.5 ディープなひと。
新企画第2弾!「私たちが今、思うこと」
- P.6 表紙記事をふかぼりっっ! 等

一般社団法人ならはみらい

平成26年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。



おかげさまで2周年! ~みんなに愛される“笑ふるタウンならは”~

笑ふるタウンならは2周年感謝祭



みんなの青空マルシェ!の様子

今回のイベントは、新型コロナウイルスの感染防止対策として、屋外スペースを活用した企画を中心におこないました。昨年からご好評いただいているみんなのマルシェ!では、飲食店はもちろん、手作り品の販売など、町内外から30店舗以上の出店が集まりました。その他、初開催となる「ならは軽トラ朝市」や、フラダンスショー・吹奏楽演奏・地元アイドルグループ等のステージ企画もおこなわれ、イベントを盛り上げました。



ここなら笑店街テナント会による大抽選会も開催

調整池では、ゴルフのレッスンプロによるスイングチェックや、フェンシングやターゲット・バード・ゴルフが体験できるスポーツアトラクションコーナーは、世代を超えて大人気!親子で楽しめるミニ鉄道も多くの方にお楽しみいただきました。17時からの第2部では、約3,000発の花火が打ち上げられ、夏の終わりの夜を彩りました。



“ハーラウラウラナニ”によるフラダンスショー



ボランティア団体によるミニ鉄道

町外からのチカラで町を元気に!! ならは応援団 活動報告!

ならは応援団員の皆さんによる、今年度の活動をPickupしてご紹介します!



ふたば未来学園3年・稲田 凜さん
相馬市出身。生徒会副会長を務める。

今回はふたば未来学園高校の探究活動の一環として、交流館で実施いただいた「青空キャンバス」を紹介します!この企画の中心的存在となったのが、同校3年の稲田さん。彼女が小学生の時に体験した、自分が望む震災後のふるさとをイラストで描く、ワークショップが今回の活動に繋がります。テーマは「僕らの大好きな檜葉町」。震災を経験していない子どもたちに対し、楽しく取り組める「絵」を用いながら、震災を伝え、ふるさとをこれからを想像し、考えるきっかけになってほしいという想



いが込められています。今後も“子ども・アート・震災”をキーワードに活動を続けたいと語った稲田さん。キャンバスとなった交流館のガラスには感性豊かな作品が描かれました。



檜葉町に想いを持って下さる
“ひと”のつながりを大切に。

応援団員数 (令和2年9月1日時点) 団体登録 20 団体 個人登録 258 名

Pick up

地元企業を知るためのパネルを制作

展示中

檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会では会員企業・団体を紹介するパネルを制作し、交流館内に展示コーナーを設けました。「地域(住民)が企業を知る」ための取り組みで、現在は檜葉南工業団地の恵和興業、住鉱エネルギーマテリアルの2社を展示しています。新たなパネルは随時制作していきますので、交流館にお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



8/1(土)生葉染め体験会

体験

今年も檜葉町で育った藍の葉を使い、ストール染めに挑戦してもらいました。参加者の皆さんは全員、藍染め初体験!とても綺麗なエメラルドグリーンに染まり、皆さんも大満足♪檜葉の魅力を伝えるため、秋には、企業で働く方々を対象にした体験会を企画中です。お楽しみに!



NARAHA 震災と復興の歩み、そして今を伝える ならはふるさと案内人

参加団体地域別ランキング

ならはふるさと案内人は過去4年間で計160団体3,099名の方々にご参加いただきました。今回は参加団体の地域別ランキングをご紹介します。上位には研修・修学旅行で頻繁に来ていただくリピーターさんのいる地域がランクイン。少数ではアメリカやオランダなど海外からもお越しいただきました。



順位	都道府県
1位	東京都
2位	福島県
3位タイ	茨城県
3位タイ	埼玉県
5位タイ	宮城県
5位タイ	栃木県
5位タイ	群馬県
5位タイ	京都府

楡葉町新たなコミュニティづくり懇話会

取組 町内での充実した生活環境を整えるべく、下記の4つの柱を軸に地元企業・進出企業・町民有識者で会議を重ねています。

- ①新コミュニティ形成への深化
- ②地域(住民)が企業を知る
- ③企業が地域(住民)を知る
- ④お互いの共通グランドを作る

【業務内容】経営理念「サッカーの聖地」「福島復興のシンボル」のもと、スポーツ施設運営、ホテル事業など幅広くを事業を展開



事業運営部 愛川雄一郎さん

【取組】日本初のナショナルトレーニングセンターとして、サッカー日本代表やラグビー海代表などトップ層から一般チームまでの合宿を対応しつつ、地域と共に幅広くイベントを展開することで、福島復興のシンボルとしての役割を担って参りました。



Jヴィレッジストリートの様子

【PR】新しい働き方改革を進める企業向けに、最大24時間利用可能な宿泊「リモートワークプラン」と日帰り「期間限定デユースプラン」の提供を開始。その他、Jヴィレッジの歴史と貴重なユニフォームを展示したJヴィレッジストリートを開催中です。お気軽にお立ち寄りください。

企業を知ろう!

まずはお互いを知るところから始めよう!
「②地域(住民)が企業を知る」にスポットをあて、町内団体を紹介します。

No.3 株式会社Jヴィレッジ (楡葉町大字山田岡字美し森8番)



つながりの深い“ひと”をご紹介します!ディープなひと。

元々は会社員として働いていましたが、撮影好きが高じて震災を機に起業。プロモーション動画の撮影をはじめ、ドローンを使用した航空動画、最近ではウェブサイトの制作も手掛けています。震災の津波被害により家を失い自分が育った家を動画として遺しておきたかったという思いがきっかけで、自分以外にも東日本大震災により家の解体を余儀なくされてしまう人がいるかもしれない。その前に形に遺したいと思い今の仕事を始めました。現在は双葉郡を中心に活動しています。今年に入ってからは新型コロナウイルスの影響で仕事が激減。そんな中、新春イ



に遺したいと思い今の仕事を始めました。現在は双葉郡を中心に活動しています。今年に入ってからは新型コロナウイルスの影響で仕事が激減。そんな中、新春イ

楡葉のおすすめ!

ならばCANvasです。仕事をするにも待合せや休憩にも開放的で快適にすごせます!

映像作家
(山田浜出身/いわき市在住)
まつもと あつし
FiveStar代表 **松本 淳さん**



イベントに引き続き「ならばみらい」運営のイベントで久しぶりに子どもたちの笑顔を記録に残すことができ、とても充実した一日でした。今後は町外から移住してきた知人と立ち上げた一般社団法人の活動のほか、現在の仕事の法人化を進めドローンスクールなど新たな取り組みを進めていく予定です。仕事柄、町の復興の様子を最前線で見る事ができ、復興の進み具合がよくわかります。これからも楡葉町の“今”を残し、様々な人たちと活動や作品を一緒に作り上げ、情報発信することで多くの方に楡葉町に来てもらいたいです。

これがイマドキ! “ならば事情”

・ならばみらいスタッフが紹介!

スマートコミュニティ始まる

スマートコミュニティ事業担当の佐藤です!楡葉町は「災害に強い地産地消エネルギー」を目指し、笑ふるタウンならばは災害公営住宅の屋根で、太陽光パネル発電を開始しました。それらに係る運営の一部を私たちならばみらいが町より受託しています。身近にいる利点を活かしたコミュニケーションをしたいと思っています。



発電状況などがひと目でわかるモニターを住宅内に設置しています。

ここなら笑店街「星空酒場」開催!

施設管理部の伊藤です!ここなら笑店街中央広場では、7月1日から2か月間、星空のもとお酒や料理が楽しめる「星空酒場」を開催しました。8月21日に開催した、南相馬市小高区を中心に活動を展開するウクレレユニット「吉田タンス店」さんによる限定ミニライブも大盛況に終わりました。来年も開催予定。お楽しみに!



8月21日に開催したミニライブの様子です。

私たちが今、思うこと 知ろう 聞こう 分かり合おう

毎回ひとつのテーマを設け、町内外の様々な方から声を集めるコーナーです。その言葉に触れることで、家庭で、職場で、仲間内で、対話が生まれてくれることを願います。

今回のテーマ

“地方移住について考えてみよう”



かつては老後の田舎暮らしのイメージが強かった地方移住ですが、近年は若者の関心も高まっています。移住した側、移住を受け入れた側の2つの視点を絡め、移住が地域にもたらす効果を考えてみたいと思います。



“ 鮭は楡葉の象徴 継承していきたい ”

木戸川漁業協同組合
なかしま たける
中島 猛さん (22)

出身は郡山市です。水族館の職員等を育成する仙台の専門学校で学びましたが、自然に近い環境に身を置きたいと思い、昨年4月から木戸川漁協で働き始めました。鮭に関わる仕事だけでなく、放射性物質のモニタリング調査や加工品づくり等、仕事は多岐に渡ります。木戸川の鮭は楡葉の象徴といえるので、大切に継承していきたいと考えています。



“ 待ち望んだ後継者 地元雇用にも繋がる ”

木戸川漁業協同組合
鮭ふ化場長
すずき けんたろう
鈴木 謙太郎さん (38)

これまで求人を出しても思うような反応がなかったため、中島くんは木戸川漁協にとって待ち望んでいた人材でした。わずか1人でも地元雇用につなげられたのは、町にとってもプラスではないでしょうか。働き始めてからは右も左も分からない中、我慢と努力の日々だったと思いますが、しっかりこなしてくれています。後継者として、大切に育てていきたいですね。

当コーナーへのご意見、取り上げてほしいテーマなどのお問い合わせは、ならばみらい業務部まで

**Fukabori!****万全なコロナ対策(笑ふるタウンならは2周年感謝祭)**

未だ、収束する兆しのない新型コロナウイルス。今回のイベントでは、参加者・関係者の中に感染者が発覚した際に連絡をするための個人情報の提出、検温、マスクの装着、手指の消毒にご協力いただいた方のみ入場ゲートを通り抜ける仕組みにし、入場ゲートを通り抜けた方には、紙製のリストバンドを着けていただきました。

出店者の皆さんには2週間の行動履歴の記録・マスクやフェイスガードの装着はもちろん、消毒



ゲーム大会の様子

や手袋の装着にもご協力いただきました。交流館では入場者数制限を設け、3密を避ける対策を行い、ゲーム大会でも、複数の方が触れるゲーム機を通じて感染しないよう、手袋の装着を徹底しました。



イベント入場ゲートでの検温の様子

**News****お知らせ “かかし”が田んぼアートに設置されました!**

山田浜にある田んぼアートをご存じですか? 3年目の今年は、新型コロナウイルスの収束を願って疫病退散の妖怪として知られる「アマビエ」が描かれています。県内外から多くの方が訪れる新たな檜葉町の観光地に、なにかし隊が制作した4体の“かかし”が設置されました。田んぼアートは10月中旬頃まで見られます。皆さんもぜひ一度見に行ってみてはいかがでしょうか?かかしを設置いただける場所の情報もお待ちしております!

**お知らせ NEW☆ふるさと納税返礼品のご紹介!**

日本酒「檜葉の風」、酒粕塩「檜葉の風」、檜葉町ブランド米「檜葉う米」、ゆずサイダー、鮭フレークなど、ミニサイズの特産品8点程度を詰め合わせ、ふるさと納税リーフレット、ならは散策マップ等の町の紹介資料を同封した、「檜葉お土産詰め合わせセット」を新規出品いたします。

**MIRAI Now ならはみらいの動き**

- 7月** 1日 ● ここなら笑店街「星空酒場」開催(8/31まで)
2日 ● 藍染め:中学生キャリア教育
20日 ● 藍染め:小学生 総合学習/たたき染め
● ホープツーリズム 研修会
23日・24日 ● ホープツーリズム 研修会
27日 ● ふたばエイトイベント・郡内ツアー
ワーキングチーム会議
- 8月** 1日 ● 藍染め体験会
7日 ● 青空キャンバス@交流館
18日 ● キッズイラストワークショップ@交流館
27日 ● 藍染め:小学生 総合学習/乾燥葉づくり
29日 ● 笑ふるタウンならは2周年感謝祭
- 9月** 1日 ● ならは31人の“生”の物語作品展示
@交流館(9/21まで)
20日 ● ふくしま合宿:千葉県立館山総合高校
ワークショップ
3日 ● 藍染め:小学生 総合学習/乾燥葉染め
25日 ● ふたばエイトシンポジウム
「しゃべくりエイト」開催

毎月実施

檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

公式ホームページはこちら!

一般社団法人
ならはみらいみんなの交流館
ならはCANvas

ここなら笑店街

その他、Facebook・
Instagramもcheck!

発行者・問い合わせ先

**一般社団法人ならはみらい**

住所:〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内

電話:0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:info@narahamirai.com

Web:https://narahamirai.com